

「いのちの授業」

鳥取大学医学部地域医療学講座 紙本美菜子先生をお迎えし、2年次生が「いのちの授業」を受講しました。人が亡くなる時の身体の変化、死から生を見つめること、いのちについて書かれた絵本の紹介、いきかた「その人らしさ」の表現など、生徒に多くのメッセージを伝えてくださいました。一枚の絵を見ながら、何が見えるか、どう感じるかをグループで話し合う活動では、人によって感じ方が違うことを知って新鮮に感じている人もいました。

最後に、「いきかた川柳」をみんなで考えました。生徒の川柳を一部、紹介します。

「つかれても 家族の笑顔で 元気です」

「一眼で タイミングまち 今を撮る」

「おいしい物 いっぱい食べて 幸せだ」

